

## 仮復旧めざすJR大船渡線

## 暫定BRT受け入れへ



被災したJR大船渡線の仮復旧手段として検討されているバス高速輸送システム＝BRTについて27

日大船渡、陸前高田の両市長が先行して導入された気仙沼市を視察。地震の際の安全確保の手段や運行状況についてJR

の職員から説明を受けました。両市長は暫定的な手段としてのBRT化に賛成する意向を表明しました。(9/27 ニュースエコーより)

## 陸前高田発

## 被災の酔仙酒造 初出荷式



陸前高田市で被災した酒造会社、酔仙酒造が大船渡の新工場で作った新酒第1号を初出荷しました。酔仙酒造は陸前高田市にあった酒蔵が被災し従業員7人も津波の犠牲となりました。

その後一関市で酒蔵を借りて酒造りを再開、今年8月には大船渡に新しい工場「大船渡蔵」を完成させました。金野靖彦社長は犠牲となった7人を偲び、涙を流しながらも、「新しい酒蔵は多くの支援の賜物。これからこの支援に応える責任がある」と力強く挨拶しました。(10/1 ニュースエコーより)

## 陸前高田災害FM発

## さんりく元気ラジオ



臨時災害FM局をつなぐIBCラジオ「さんりく元気ラジオ！」(毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～)。3日は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、レポート。今月21

日に復活開催される「全国太鼓フェスティバル」について、実行委員会の及川修一さんにお話しを聞きながら伝えてくれました。

## 宮古発

## 田老の復興を絵はがきに

宮古市田老地区の様子を撮影した写真が絵はがきとして販売され、関心を集めています。撮影したのは

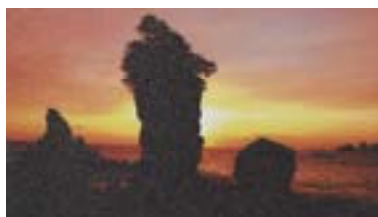


「津田時計写真店」の従業員、新屋正治さん57歳。津田時計写真店は元々、田老の中心部にありましたが、震災から一年半経ち、現地にその面影はありません。



自宅も失った新屋さんがカメラを買い、田老を再び撮影し始めたのは、震災からおよそ一か月後の事でした。震災後、撮影した田老の写真は数千枚。その中から、選りすぐりのものを今回、絵はがきにしました。そこには支援し

てくれた人たちへの感謝と田老は復興に向かうんだという前向きな姿が捉えられています。絵はがきはグリーンピア三陸みやこの仮設商店街にある「津田時計写真店」で販売されています。(10/3 ニュースエコーより)



## 宮古発

## 「元気発信！ラジオ希望堂」



被災地で前向きに取り組んでいる人の姿を紹介しながら、元気を発信していこうという内閣府提供「元気発信！ラジオ希望堂」。(ラジオ毎週

土曜午後0時40分～) 今週(10/06)は、宮古市にある障害者福祉施設「みやこ・ワークステーション」の施設長、及川耕一さんに震災後の取り組みなど伺います。(写真：みやこワークステーションの外観)

「IBC復興支援室だより」では、ラジオ、テレビなどIBCを通じて放送する、震災復興に関するさまざまな情報をピックアップし、リリース等を通じて定期的に発信・紹介します。  
IBC復興支援室事務局(ラジオ放送部内) 019-623-3122